真木レポート 第10号

平成26年3月定例会での活動のまとめをお伝えします。

メール dai@makidaisuke.jp 電話/FAX 048-234-8435 郵便 戸田市大字新曽1057-803

市民のみなさんから頂いたご意見をもとに、主に3件の提言を行いました。その他、本会議や各委員会でも多く発言を行いました。

一般質問① 子育て　気軽に預けやすい一時保育に！

▲保育園の一時保育：たまには、お子さんを預けてリフレッシュを☆

地域のつながりが希薄になっているなか、子供の世話を頼めるご近所さんや親戚がいない専業主婦は、自分の自由な時間を持てずに育児ストレスを抱えがちです。

保護者の負担軽減だけでなく、子供たちの健全な育成のためにも、気軽に子供を預けられる「一時保育」の充実が求められています。そこで、以下の5点を提言しました。

① **保育園の「一時保育」の土曜日実施**
② **戸田公園駅前行政センターの「一時預かり」の午前実施と土曜日実施**
③ **電話やFAXによる申し込み受付け**
④ **申込み受付け状況の更なるHP公開**（⇒全園2か月分がHP公開されました！）
⑤ **月1回のリフレッシュ利用枠の制限回数拡大や柔軟運用**

議場では概ね前向きなご答弁を頂きました。今後の推移を見守ります。

一般質問② 教育　論理的な英語のコミュニケーション力を！

▲さいたま市の英会話授業：すべての生徒が英語でディベート（討議）を行っていました。

英語教育に力を入れてきた戸田市ですが、国の英語授業時間数が戸田市に並んで以降、本市の英語学力は急激に優位性を失いつつあります。

一方、近隣のさいたま市は、通常授業に加えて「英会話」という独自の授業を展開し、子供たちは“使える英語”を活き活きと学んでいます。

戸田市は、かねてからALT（英語指導補助）を全小中学校に配置し、国を先取ってコミュニケーション力の育成を進めていますが、さいたま市と比較すると、**①カリキュラム・指導案 ②中枢の人事 ③中学校でのALT活用 ④論理的なコミュニケーション力育成 ⑤コミュニケーション力の効果測定** にいくつかの課題が見受けられます。

議場では以上の点について詳細な質問・提言を行い、その中でも特に、英語教育を通じた論理的なコミュニケーション力の育成を今後推し進めていくよう求めました。

総括質問 安全　自転車レーンを県道・国道にも！

※総括質問は、会派代表の酒井議員が登壇。

市内で着々と設置が進んでいる「自転車レーン」には、歩道での歩行者の安全を守り、同時に交差点上での自転車とクルマの事故を防ぐ効果があり、市民の方々からは「クルマから見やすい」「安心して歩ける」などと評価する声を多く頂いています。

そこで、更なる自転車レーンの整備を推進するために、以下の質問を行いました。

Q1. 自転車レーン整備計画の総距離は？
A1. 2020年までに「10km」。長期的には「28km」。
Q2. 整備計画には市道（右図の青線）しか含まれていない。県道（右図の緑線）や国道（右図の赤線）へも自転車レーンを設置すべきでは？
A2. 県道国道に対しても、自転車レーンをさらに伸ばしていきたい。

▲戸田市の自転車レーン整備計画：県道（緑）と国道（赤）も整備することで、「自転車レーンのネットワーク化」が更に進みます。

これまでの議会での提言が少しずつ市の施策として形になっています。これからも、みなさんからの声を大切にして活動していきます。
私の活動内容について、詳細は**公式HP**または**facebook**をご覧ください。（**インターネットで「戸田市　真木」と検索してください。**）

報告

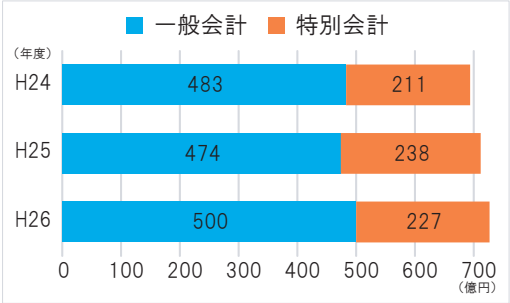
お金の使いみちが決まりました！

平成26年度の1年間のお金の使いみち（当初予算）が決まりました。

昨年度の予算からの変化で目立つものは、**民生費の増大**（200億円→237億円）と**新曽土地区画整理事業費の大幅削減**（30億円→20億円）です。

私の所属する文教建設常任委員会の中で、「土地区画整理事業の早期完了」を求める意見が出され、また私は給食費未納対策として「給食費と児童手当との相殺」を求めました。その他、教育や都市整備関連の予算を詳細に審査しました。

会派としては、主に「市民参加アプリ」「放課後学習システム」「予防接種モバイルサイト」等の若い世代を支援する新事業を評価し、予算案に賛成しました。

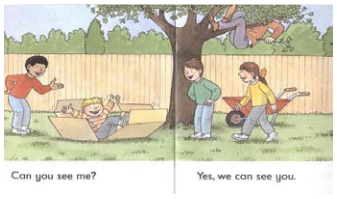


▲**当初予算の推移**（※上下水道会計を除く）

イギリス教科書が図書館に所蔵！

楽しみながら本場の英語を身に付けられる絵本シリーズ**“Oxford Reading Tree”**が、図書館に所蔵されました！

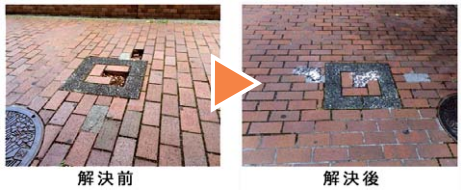
市民の方からのご意見を受け、私が昨年の6月定例会で提案したものです。既に、たくさんの貸出しがあります。



市民参加アプリを開発中！

まちなかの道路破損やゴミ散乱の現場、自然災害の被災箇所などの写真をスマホでアップするだけで、地図上で情報が共有されるアプリを戸田市が開発中です。（12月運用開始）

これにより、早期修繕・早期対応が可能になります！



土のうステーションが7ヶ所に設置！

私が昨年12月定例会で提案した「土のうステーション」が、市内7か所に設置されました。埼玉県内では初の事例です。

《土のうステーションの使い方》

自由に土のうを取り出せます。使用後も乾燥させて再利用可能。

11月～1月に設置される白い回収ボックスに返却できます。

《土のうステーションの設置場所》

①戸田市役所の駐車場南側　②戸田市立図書館の敷地入口

③新曽中学校の南側駐車場　④土地区画整理事務所の入口

⑤山宮橋付近の水防倉庫用地（丸源ラーメンから笹目川方面）

⑥区画整理地内（線路に関してスポーツセンターの反対側）

⑦根木橋公園　※利用状況によっては今後の増設が期待されます。

▲会員1,480名の団体「自転車は左」の初めての総会を戸田市で開催しました。

真木大輔（まき だいすけ）

戸田市議会議員／1期目／無所属（党籍・党歴なし）

戸田の会 副代表／文教建設常任委員会・交通対策特別委員会 など

プロフィール　和を以って貴しとなす

32歳・既婚／茨城県日立市出身／水戸一高卒／東京大学（教養学部）卒／東大大学院（駒場素粒子論）中退／講師業・投資業／菅原文仁県議に師事

4大政策　戸田の未来をつくるために

教育　自立し協力し合える力を　**行財政改革**　長期展望を持って

子育て　子育てしやすい社会に　**安全**　日常生活も防災も

市政に関するご意見は、メール・SNS等にてお気軽にお寄せ下さい！

内部討議資料　**真木レポート第10号（平成26年3月定例会報告）** 2014年10月 真木大輔後援会 発行

※印刷&折り加工費（デザインは自作）：第11号との合併で1枚あたり3.7円（56,500枚印刷 駅頭配布と全戸配布）